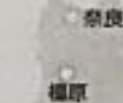


## 奈良



奈良支局  
〒630-8001 奈良市法華寺町141-1  
☎(代)0742-34-1101 FAX 34-1103  
橿原支局

〒634-0063 橿原市久米町652-2  
橿原市商工経済会館2F  
☎0744-28-6388 FAX 28-6399

大和高田通信部 ☎0745-78-5080  
桜井通信部 ☎0744-46-3520  
五條通信部 ☎0747-52-7611  
大和郡山通信部 ☎0743-56-1812  
生駒通信部 ☎0743-75-2503

ホームページ  
<http://www.yomiuri.co.jp/local/nara/>

広告のご用は ☎0742-33-5487  
読売旅行は ☎0742-26-5555  
折込広告は ☎0743-59-0930

# クラブでつかむ ふるさと納税

## 三宅町

全国有数の野球用グラブの産地として知られる三宅町が、ふるさと納税で全国の野球愛好家らの注目を集めている。クラブの返礼品は全国でも珍しく、2015年度の開始以来、寄付額は2年で10倍を超えた。町の担当者は「この人気が地場産業の振興につながれば」と期待する。

(岡本輝之)

## 寄付額2年で10倍

町によると、クラブを指定する寄付金は、15年度46件約240万円から、16年度に309件約1230万円、17年度は481件約2490万円と大幅に増加。同年度のふるさと納税額約2860万円の大部分をクラブの返礼品が占めた。この数字は16年度の町税収入の4%程度を占めるまでの伸びで、町では子育て支援などに充てるとしている。

町によると、競争が激しい農産物や肉などと異なり、クラブの返礼品は桜井市や愛知県岡崎市など数える程度。その上三宅町は、少年用やボシジョン別など19種類(4月時点)をそろえ、充実させたことなどが人気の理由という。

特に高額ながら人気なのは、寄付金15万円以上のボシジョンや革の色などを指定できる「オーダークラブ」だ。昨年4月の開始から1年間で、町が見込んだ5件を大幅に上回る16件の申し込みがあった。

町からの依頼で返礼品を製造する同町の「ジュンケイクラブ」。オーダーでボシジョンなど型が14種類、革は3色から選べ、子ども向けに「手口」を小さくしたり、軟式仕様にしたりする変更が可能という。

## 野球ファン注目 少ないライバル ■ 豊富な種類人気

完成まで数か月待ちといい、吉田貴夫社長(42)は「野球少年の父親からプレゼント用としての問い合わせもあり、ありがたい。ふるさと納税以外でも購入しようと思ってもらえたら」と話している。

問い合わせは、町財政課(代表0745・44・2001)。

五條市では、市内在住の高齢者らを対象にした日本郵便の「みまもりサービス」を4月から返礼品に県内で初めて導入。同社員らによる月1回の訪問(6か月間、寄付金6万円以上)か、自動音声による毎日の電話(同、3万円以上)で体調などを確認し、結果を依頼者にメールで送信する仕組みだ。担当者は「ふるさと納税を通じて親孝行をしてもらえたら」としている。

を知ってもらえれば」とその狙いを打ち明ける。

王寺町が用意したのは、直径60センチのマンホール蓋(着色なし20万円以上、カラー30万円以上)。同町のシンボル「和の鐘」があしらわれており、カラーに1件の寄付があったという。担当者は「町に特産品や産業が特になく、話題になればと思った。実際にテレビで取り上げられた」と話す。

## 大黒柱、高齢者見守り

## 県内ユニーク返礼品

県と各市町村が用意しているふるさと納税の返礼品には、クラブ以外にもユニークなものがある。

異彩を放つのは吉野町。吉野ひのきの「大黒柱」(12センチ角、長さ3メートル)や吉野杉の小机(10万円以上)などを取りそろえた。担当者は「『木のまち・吉野』



クラブを作る吉田社長。オーダー品は完成まで数か月待ちという(三宅町で)